

◆**学校名** 富田林市立藤沢台小学校, 富田林市立向陽台小学校, 大阪狭山市立南第三小学校, 柏原市立国分東小学校


◆**主題名** 謙虚に広い心をもって **道徳の内容** B - 寛容・謙虚

◆**ねらい** サムとピエロの両方の思いを考えるを通して、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする道徳的心情を育てる。

◎**中心的な発問**

サムとピエロが話し合う場面で、それぞれどんなことを考えていましたか。

◆**本時の展開**

	学習活動	発問と予想される子どもの反応	指導上の留意点及び評価★
導入	◎今日の資料に関わることに興味をもつ。	サーカスって知っていますか？見たことはありますか？	○これから扱う資料に、子どもたちの興味関心が向くように配慮する。
	◎資料の範読を聞く。 （「わたしたちの道徳 小学校5・6年」p.84～85） ◎サムとピエロの立場や関係を考える。	サムとピエロの立場や関係について、わかることは何ですか。 サム ・スター気取り ・半年前に入団  ピエロ ・古くからのスター ・リーダー ・サムにいつも腹を立てている。	○サムとピエロのそれぞれの気持ちに寄り添いながら聞くように伝える。 ○登場人物について整理する。 ○二人が相容れない関係であることを確認する。
展開	◎サム、ピエロそれぞれの立場になって、考え話し合う。	ピエロがサムを注意する場面で、それぞれどんなことを考えていましたか。 (サム) ・いちいち注意してきてうるさいなあ。 ・俺が一番だ。スターが目立って何が悪い。 (ピエロ) ・いつも一人だけ目立ちやがって。 ・自分だけという考えではいけないんだ。	☆それぞれの立場になって、考えることができたか。

	<p>◎サム、ピエロそれぞれの立場になって、考え話し合う。</p> <p>◎資料の続きの範読を聞く。(p.86~87)</p> <p>◎サム、ピエロそれぞれの立場になってワークシートに自分の考えを書き、学級全体で交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>大王アレキスの一行がサーカス小屋を後にした場面で、それぞれどんなことを考えていましたか。</p> </div> <p>(サム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の演技を披露できたぞ。 ・最高の演技ができるのはスターである僕だ。 ・全力を尽くしたぞ。 <p>(ピエロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰ってきたら、また注意しなければ。 ・あれほど言ったのに。我慢の限界だ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>サムとピエロが話し合う場面で、それぞれどんなことを考えていましたか。</p> </div> <p>(サム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が勝手なことばかりしていたことは反省しなければいけない。 ・ピエロが僕のことをわかってくれてうれしい。 ・自分だけがスターではない。これからはみんなと協力してよりよいものにすぞ。 <p>(ピエロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サムの自分勝手な行動は直してほしいが、彼の演技に対する思いはすばらしい。 ・みんなにもサムの頑張りを認めてほしい。 ・サムを手本にもっと努力していこう。 	<p>☆それぞれの立場になって、考えることができたか。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><評価>サムとピエロ、それぞれの立場になって考えることを通して、お互いに相手の気持ちを理解する態度が必要だったことに気づいている。(ワークシート・発言の様子)</p> <p><評価をいかした支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピエロが自分を受け入れてくれたことで、サムの気持ちにも変化が生じたことに気づかせる。 ・リーダーとして、相手の気持ちを理解しようとしたピエロの気持ちも捉えさせる。 ・サムもピエロも、観客のために全力を尽くそうとしている点で同じであることに気づかせる。 </div>
終末	<p>◎学習のふり返しをする。</p>	<p>○今日の学習を通して、思ったこと・考えたことを書きましょう。</p>	<p>☆今日の学習を通して、考えたことを自分なりにふり返しに書くことができたか。</p>

◆研究のまとめ

○授業実践について、チームとしてのまとめ

[成果]

- ・ワークシートを活用して、一人ひとりの思いや考えを評価することができた。
- ・振り返りに「相手を大切にしよう」「相手の立場に立とう」という意見を書いていた子どもが多かった。これは、授業のねらいに迫ることができた子どもたちが多かったことを示すものであると考えている。
- ・ピエロの気持ちは考えやすかったようで、子どもたちからさまざまな意見が出た。

[課題]

- ・子どもたちが個人で考えた後、全体で効果的に考えを深められたかについては疑問である。どのような発表の場を設定すれば、お互いの立場に寄り添ってより思考を深めることができたか、検討の余地があると考えている。
- ・中心発問と評価方法についてはグループ全員で同じ内容で行ったが、中心発問で子どもが寄り添う対象については、①サムとピエロの両方 ②サム、ピエロのどちらか片方の立場 というふうに、授業者が学級の状況に合わせて選択して実施した。
- ・サムはピエロの行動を通して変わるため、サムの「寛容さ」について考えるのはやや難しく、子どもたちからの意見が少なかった。
- ・ねらいとする内容項目をもとに、評価基準を授業者が独自に設定したが、その方法が妥当だったかどうか検討が必要である。
- ・「広い心」という授業のねらいとは大きくかけ離れた子どもの意見があったが、どのように評価すればよいか。

[改善策]

- ・サムの「寛容さ」に子どもたちが気づき、考えを深めるためには、教師側から意図的な問い返しの発問を行うとよいのでは。
- ・テーマ発問として、「広い心」について子どもたちに考えさせてみるのもよいのでは。

○道徳の評価についての提言

- 公平な評価をするためには、一人の登場人物の心情にしぼって子どもに考えさせる方がよい。
- ・学級の半数ずつを「ピエロの気持ちを考える子ども」「サムの気持ちを考える子ども」に分けて授業を行った実践報告があったが、サムの気持ちを考えることが難しかったようで、なかなか意見が出なかったとのことである。評価する際に不公平が生じないためにも、一人の心情を追って行く方がよいと考えた。
- 評価基準をあらかじめ明確にしておく。
- ・今回の資料では「謙虚・寛容」というねらいに達するにはなかなか難しいものがあった。どこまで考えればねらいが達成されたことになるのか、あらかじめ基準を設定しておいた方がよい。
- 中心発問だけでなく、振り返りでも評価していく。
- ・中心発問のみによる評価では不十分なことがある。最終的に子どもたちがどのような感想を持ったか、振り返らせることで評価していく必要がある。
- ワークシートや振り返りシートの活用
- ・ワークシートや振り返りシートは、子どもたちが授業でどのようなことを考えたか、ねらいに迫ることができたかどうかを見取る重要な資料であると考えている。これらをファイリングして蓄積していくことで、子どもたちの成長の様子も見取ることができる。

【各校での実践の記録】

◆実施学年（6年）

◆評価を位置づけた授業実践の分析

○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

1. 「広い心とは、相手の立場を考えられること」を本授業の大きなテーマ・目標に設定し、子どもたちの気づきを促す。
2. ピエロ・サム、両方の立場になって、疑似体験を通して気持ちを考えさせる。
3. ピエロとサムは最初対立をされていて、自分のことしか考えていないが、お互いを理解した後は、相手のことを考えられるようになっていく点に注目させる。

以上の観点をふまえて、授業の中で、「みんながピエロ・サムならどうする？」と、登場人物に寄り添って思考できるよう留意した。また、子どもたちの考える「広い心」は、「優しい」「何でも許す」といったイメージがあったが、今回の学習を通して、相手の立場を考えることも「広い心」の一つではないか、と気づきを促した。

そして、「2人が朝まで話していた内容を考える」主発問の場面では、それぞれがお互いの立場になって考え、これからの話ができていくかについて気づいているかどうかについても評価のポイントととらえて子どもたちの様子を観察した。

◎成果と課題

- 成果**
- ・ 支援が必要な児童も、感想を見ると、内容や教師のねらいを理解して思考できている子どもが多かった。
 - ・ 板書計画がわかりやすかった。
 - ・ 資料を通して疑似体験ができ、自分の立場に置き換えて考えられていた。
 - ・ 1回の範読で、内容の大体を理解できていた子どもが多かった。

- 課題**
- ・ 主人公2人の気持ちに寄り添って考えるのが難しかった。一人に絞って考える方がよい。
 - ・ 中心発問は、起承転結の「転」の部分に設定するほうが効果的だったのでは。
⇒本授業では、控室の場面の2人の気持ちを考えるとよかったのでは。
 - ・ 資料を中心に進めるのではなく、「広い心」をテーマに授業を進めたほうがよかった。
⇒その方が、子どもたちの身近な話題としてイメージがしやすかったのでは。
 - ・ 5年生には、今回の指導の流れはやや内容が難しかったのでは。

実践校名（富田林市立藤沢台小学校）

◆実施学年（5年）

◆評価を位置づけた授業実践の分析

○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

評価方法：授業中の児童の発言・ワークシート

- ・サム気持ちとピエロの気持ちを同時に考えることの難しさ
中心発問までの発問による発言では、サムへの苛立ちを表すピエロの気持ちを発言する子が多く、サム気持ちに関しては、あまり意見が出なかった。
- ・中心発問での変化
サムとピエロ、それぞれの気持ちを考えるワークシートを活用して、「観客のため」「ピエロが受け入れた気持ち」「リーダーとしての気持ち」等、様々な方向から考えることができていた。
「サムの演技は、リーダーに認められるぐらいすごかった」「あんなにがんばっていたのは、ただみんなに認めてもらいたかったんだと思う」等、サムの気持ちを読み取ることができていた。
- ・ワークシート
手を挙げて発言することのできた児童への評価はしやすいが、板書した意見以外の意見をワークシートに書いていた児童も少なくない。ワークシートの紹介を通して、意見の交換を行った。
ふりかえりの場面から、「ピエロがやさしい」「サムのように人の意見を聞こうと思った」という記述から、相手への尊敬や、相手の立場に立って考えようと思った子が多いように感じた。しかし、広い心という点では、適切であったかどうか少し疑問が残った。

○成果と課題

- ・ワークシートを活用して、一人ひとりの思いや意見を評価することができた。
- ・なかなか発言できない児童に対しても、ワークシートによって思いを引き出せることができて良かった。
- ・個人で意見を考えた後、全体で交流する際に効果的な進め方を検討する必要があるように感じた。
- ・ねらいとする内容項目「広い心」と大きくかけ離れた意見について、どのように評価すべきか考える必要があると思った。

実践校名（富田林市立向陽台小学校）

◆実施学年（5年）

◆評価を位置づけた授業実践の分析

○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

主発問に対して、以下の複数の視点がワークシート等に表れていたら評価する計画を立てていた。

☆サムの場合…①ピエロに分かってもらえた嬉しさや感謝等の視点

②「今まで一人、スター気取りで申し訳ない」等の謝罪の視点

③「これからは一緒にやっていこう」という協力の視点

☆ピエロの場合…①「サム的一生懸命さはすごいよ」と相手を認める視点

②サム的一生懸命さをわかってほしいという視点

③サーカスや観客の為にサムにも変わってほしいという願いの視点

しかし、それぞれの立場で考えさせたため、主発問での深まりがあまりなく、評価が難しかった。そこで、「学習のふり返り」で評価を試みることにした。「謙虚な心を持ち、相手を大切にする」というものが表れているかどうかで内容項目に迫ることができたかどうかを判断した。例えば、「あの演技のおかげでピエロもサムを見直した」「人のことを厳しく言うときは相手の気持ちを考えて注意しないといけない」「みんなが心を入れ替えれば立場が逆転するんだ」等が児童の振り返りに書かれていた。これらの児童は内容項目に迫れていたと判断し、授業のねらいが達成できたと考えた。

一方で、「謙虚な心を持つ」という部分が表れているだけでも目標達成ではないかとも考えた。例えば「自分のことばかり調子にのって考えてはいけない」「みんなのサーカスということを考えないといけない」等の意見も、内容項目に迫れているのではないかと考えた。

課題

- ・評価基準を内容項目から担任が考えてみたが、それが適切であったのかどうか。
- ・上記のような評価基準で評価したが、このような観点を児童が考えられるような授業の流れであったのかどうか。
- ・サム立場から「寛容さ」について考えるのが難しかった。
- ・それぞれの心情を考えさせたことで、お互いの心情に触れて幅広い考え方が出た点はよかったが、評価する際に立場によって評価基準が違いため、公平な評価となったかが疑問である。公平な評価とするためには、登場人物一人だけの心情に寄り添う方が良いのではないかと考えた。
- ・サム役の児童とピエロ役の児童が向かい合って1人ずつ発表していったが、発表していくうちにだれの気持ちを追っているのかがわかりにくくなった。どのような交流の仕方をするか、お互いの立場を考えやすく、より思考を深めることができるのか検討が必要である。

◆評価に用いた資料サンプル（板書）



実践校名（大阪狭山市立南第三小学校）